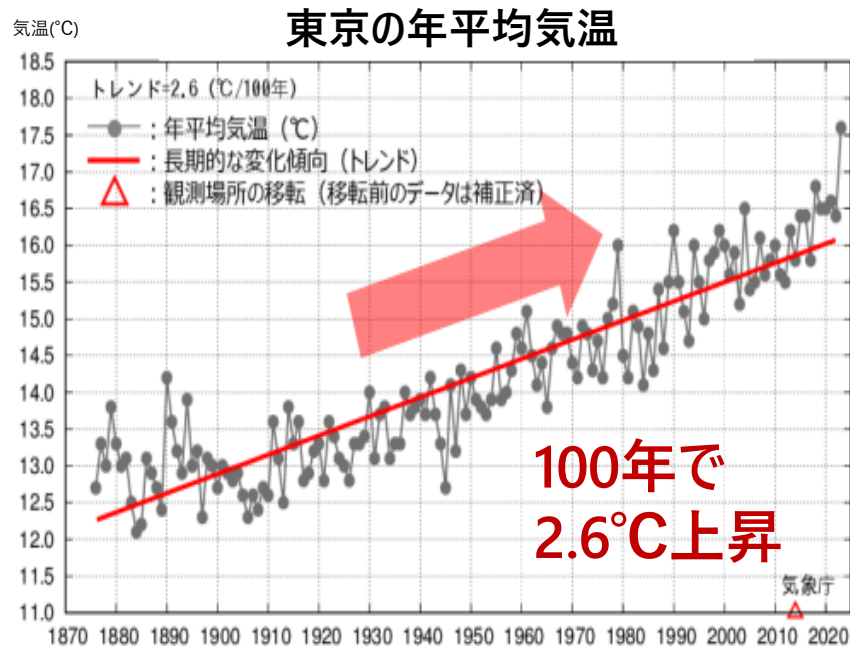


ゼロエミッション東京 の実現に向けて



気候危機の加速

- 気候変動により、日々の生活は**危機と隣り合わせ**に
- 命を脅かすほどの**気温上昇**に加え、**風水害の脅威**も



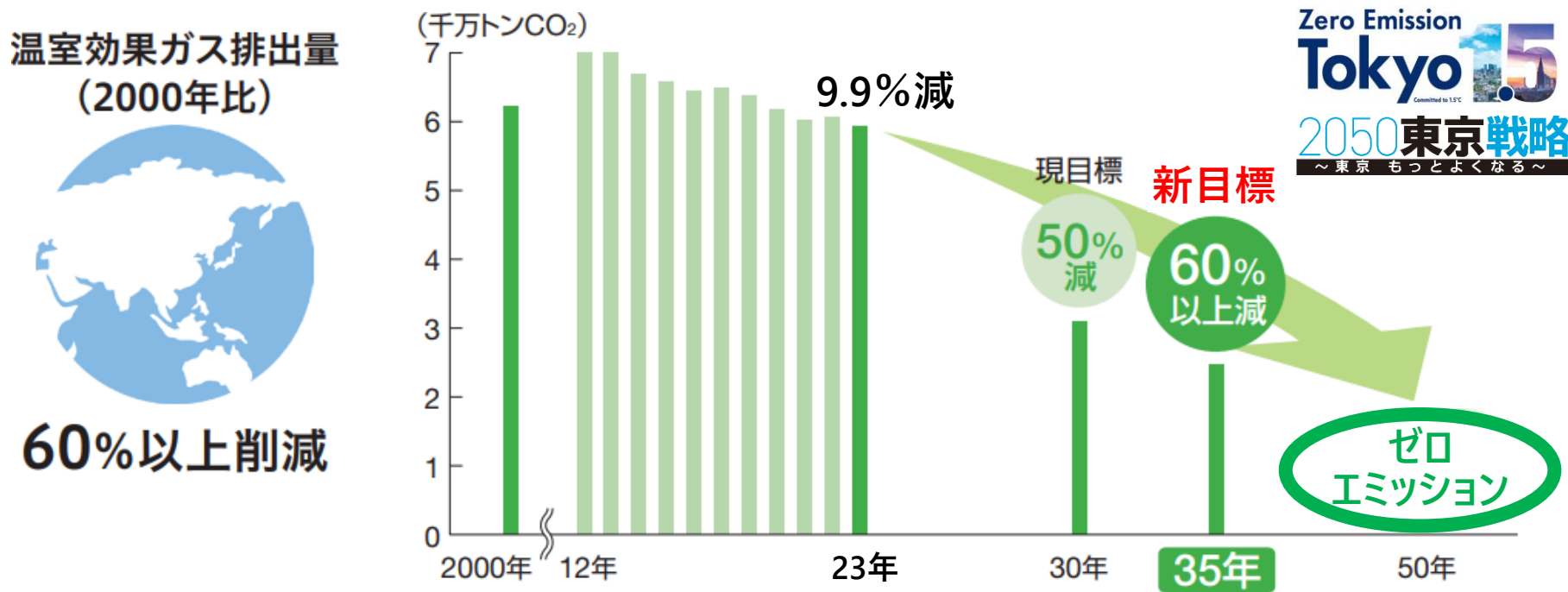
都内で**40°C超え**を記録するなど、
この夏も猛威を振るった**災害級の暑さ**

- 東京都心の猛暑日は**過去最多の29日**
- **青梅市**で最高気温**40.4°C**を記録(2025.8.5)
- **東久留米市**付近で1時間に約100ミリの猛烈な雨を記録(2025.8.18)

**脱炭素化と都市の強靱化を進め、
人々の命と生活を守っていくことが重要**

ゼロエミッション東京の実現に向けて

- グリーンでレジリエントな都市・東京を目指し、本年 3 月「ゼロエミッション東京戦略 Beyond カーボンハーフ」を策定



- 都民・事業者との共感と協働のもと、東京の総力を結集
- 地域に根差す市区町村と連携し、実効性ある取組を推進

高い断熱性能等を備えた「燃費のいい家」の普及

- 建物の脱炭素化は、健康・防災等のメリットがあり、レジリエンス強化に寄与
- 新築住宅への太陽光発電設備の設置義務化を契機に、取組を加速

ゼロエミ住宅

- 国の断熱・省エネ基準を上回る東京ゼロエミ住宅の建設を支援

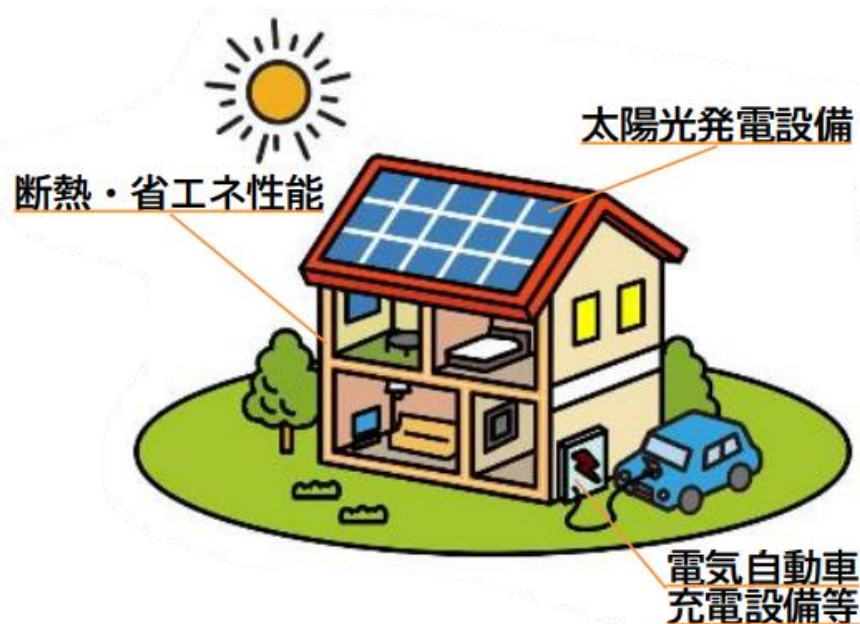
断熱改修

- 断熱防犯窓・高断熱ドア・壁等断熱への支援を拡充し、断熱改修を推進

ゼロエミポイント



- 東京ゼロエミポイントによる省エネ家電への買替を促進
- 熱中症リスクの高い高齢者等に対し、支援を拡充



地域の省エネ再エネの後押し

- 住宅への省エネ・再エネ製品等(ポータブルPV等)の導入を推進する市区町村を支援

再生可能エネルギーの普及拡大

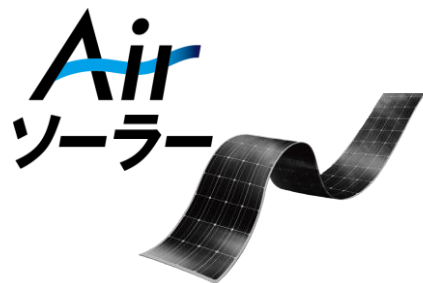
- 都内CO₂の約 7 割が電力由来であり、CO₂削減には再エネの基幹化が必要不可欠
- 「発電する未来都市」の実現に向け、新技術とポテンシャルを最大限活用

Airソーラーの初期需要創出

- 薄く・軽く・曲がる日本生まれの次世代型太陽電池。投票で親しみやすい新名称を決定
- 素材のヨウ素は国内調達が可能。再エネ創出のゲームチェンジャー
- 災害時の一時滞在施設、都有施設への先行導入、市区町村施設等において実証を行う事業者を支援



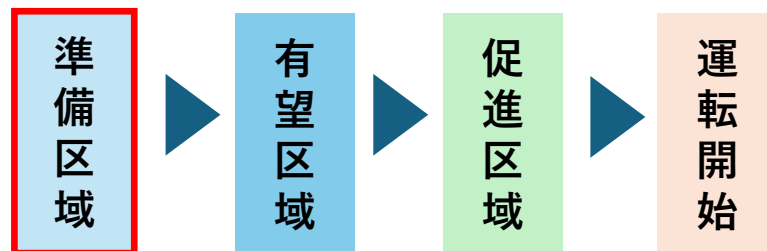
Airソーラー搭載庭園灯
(東京体育館)



ペロブスカイトと呼ばれる
結晶構造を用いた太陽電池

浮体式洋上風力の早期実装

- 2025年6月、大島町沖、新島村沖、神津島村沖、三宅村沖、八丈町沖の5海域が「準備区域」として整理



- 地元の理解・協力を得ながら、自然環境や生態系、地域と共生した取組を推進



説明会



出典：五島市

魚礁効果による
漁業との共生

ゼロエミッションモビリティの推進

- ZEV※の導入や充電インフラの整備等を通じ、モビリティの脱炭素化を推進
- ZEVの蓄電・給電機能を活かし、エネルギーインフラの強靱化や災害対応にも寄与

※走行時にCO₂等の排出ガスを出さない電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド車(PHEV)、燃料電池自動車(FCV)

自動車の脱炭素化を加速

- GX実現に取り組むメーカーの車両に補助を加算し、利用・供給両面で普及を加速
- EVバス・EVトラックの購入支援により、ZEV商用車を普及
- 災害対応力強化等に向けてZEVの導入を行う市区町村等を支援



EVバス

(出典：いすゞ自動車HP)



EVトラック

(出典：三菱ふそうHP)

ZEV普及を支える充電インフラの整備

- 新築建物への義務付けによりEV充電設備の設置を標準化
- 集合住宅等の充電設備やV2B・V2H設備の設置を支援
- 住宅や商業施設、公道、市区町村施設等へのEV充電設備の設置を支援



公道・合同庁舎における充電設備の設置

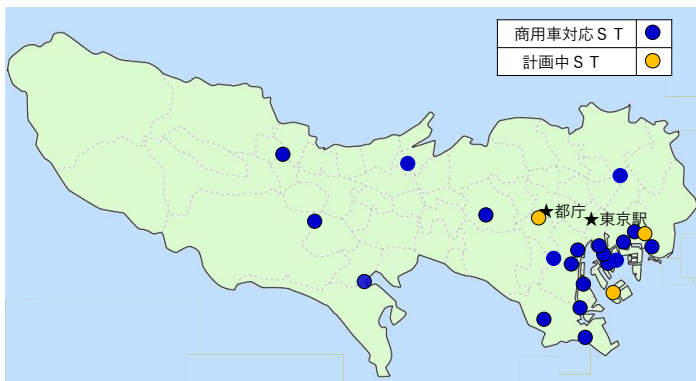
水素エネルギーの普及拡大

- 需給両面の取組を通じて水素エネルギーの社会実装を推進

水素ステーションの整備促進

■ 水素エネルギーの普及に向け供給体制を構築

- ✓ 整備・運営費の一部を助成
- ✓ 都有地を活用して、燃料電池大型トラック対応ステーション(新砂)やグリーン水素を活用したステーション(西新宿)を整備予定



水素ステーションの状況（令和7年10月）

20か所、30基（多摩4基、区部26基）

多様なモビリティへ実装

■ 商用モビリティを軸に水素の積極的利用を拡大

- ✓ 燃料電池タクシーの大量導入を契機に「TOKYO H2プロジェクト」を始動

【FCバス】135台、【FC小型トラック】133台
(R7.10月時点走行台数)



燃料電池タクシー出発式

- ✓ FCごみ収集車を10市区に一定期間無償貸与→現在、多摩市・東久留米市・町田市・清瀬市に貸与中

サーキュラーエコノミーへの移行を加速

- 資源の大量生産・消費・廃棄から脱却し、循環経済へと移行することが重要
- 優れた循環型社会だった江戸の知恵・工夫も取り入れ、2 R・高度リサイクルを推進

使い捨てプラスチックの削減

■ 2 Rビジネスの主流化や水平リサイクルの社会実装を推進

- ✓ 容器包装・製品プラの分別収集拡大等に取り組む市区町村を支援
- ✓ 2 Rビジネスや水平リサイクルの事業着手・拡大に取り組む事業者を支援
- ✓ 都庁舎から排出されるペットボトルのボトルtoボトルやイベント等でのリユース容器利用を推進



食品ロス・食品廃棄物の削減

■ 発生抑制、未利用食品の有効活用、食品廃棄物の再生利用を推進

- ✓ 飲食店等と協働した「食品ロスゼロ！キャンペーン」を展開



- ✓ 都や市区町村が保有する防災備蓄食品をフードバンク等に寄付
- ✓ 食品残さの肥料・バイオガス化等に取り組む市区町村を支援

持続可能な資源利用の推進

- 小型家電の普及、循環経済ビジネスの拡大など、新たな社会変化への対応が必要
- 市区町村や事業者とも連携し、適切な処理・リサイクルや有効利用を促進

リチウムイオン電池の適正処理

- 市区町村と連携した広域回収や普及啓発により、適正処理を促進

- ✓ 火災事故防止に向けた「リチウムイオン電池 混ぜて捨てちゃダメ！」プロジェクト



- ✓ 複数自治体から広域的に回収・資源化するモデル事業
- ✓ 分別回収、リサイクルに取り組む市区町村を支援

廃食用油・廃棄物の有効利用

- 廃食用油や廃棄物を原料としたS A F※の推進

※持続可能な航空燃料

- ✓ 市区町村と連携した家庭の油を回収するキャンペーン

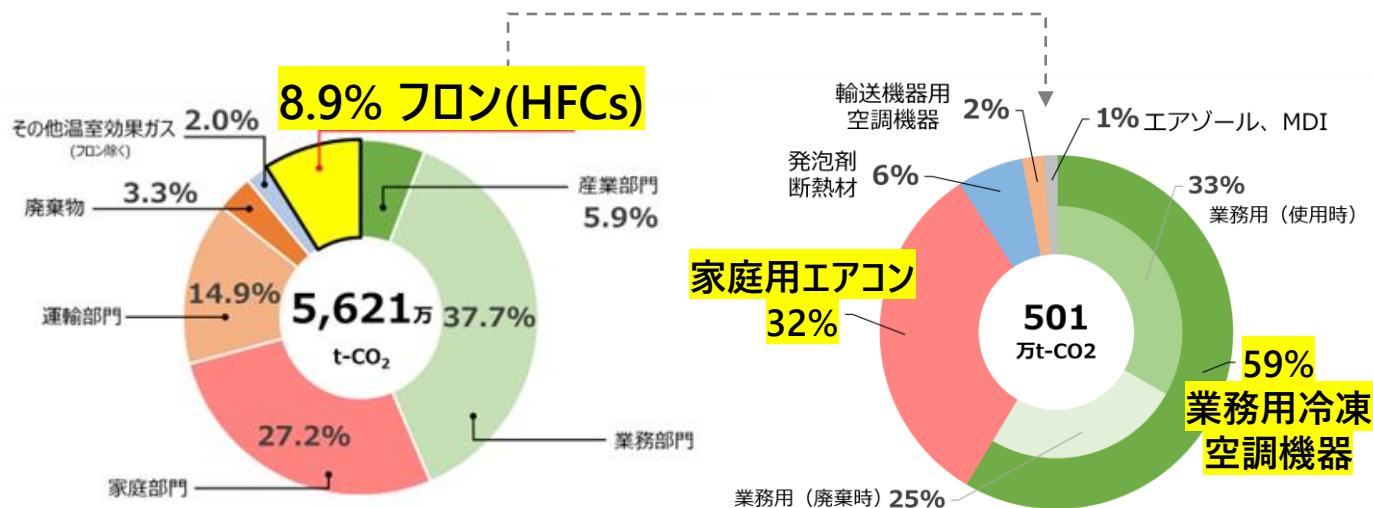


キャンペーン(5/2～10/31)回収量
約11,300ℓ

- ✓ 廃食用油の再資源化に取り組む市区町村を支援
- ✓ 都内の廃棄物を使用したS A F製造に取り組む事業者を支援

フロン対策

- 業務・家庭用空調機器等から排出されるフロンは、都内温室効果ガスの約 1 割
- 機器の製造時、使用時、廃棄時のライフサイクル全般の対策を強化



ノンフロン機器等の導入促進

- ノンフロン機器、AI等を活用した**使用時漏えい**に係る遠隔監視技術の導入支援
- 市区町村等が省エネ型ノンフロン機器を導入する取組を支援

家庭用エアコンに関する普及啓発

- 啓発動画等を活用し、**適正処理**や古いエアコンの買替等を促進



気候変動に適応するレジリエントな都市の実現

- 東京都気候変動適応計画やTOKYO強靱化プロジェクトupgrade I に基づき全庁一丸となって、暑さ対策や風水害などへの対策を推進

暑さ対策 ～猛暑から都民の命を守る～

- 身近な場所の危険度が分かる「東京暑さマップ」やクーリングシェルター等のマップを公開
- 暑さに体を慣らす「暑熱順化」を促進する講習会を開催
- 水分補給、エアコン利用、日傘・帽子の活用
の徹底を呼びかけ
- エssenシャルワーカーを対象とした熱中症対策
用品の配布等に取り組む市区町村を支援
- 都気候変動適応センターと連携した市区町村
への情報提供・助言、都民への普及啓発



東京暑さマップ



暑熱順化等講習会



日傘イベント
「私の推し傘セレクション」

市区町村との連携強化

市区町村連携による環境政策の加速化

- これまで、東京の広域的環境課題の解決に資する**市区町村の取組**に対して**財政支援**を実施

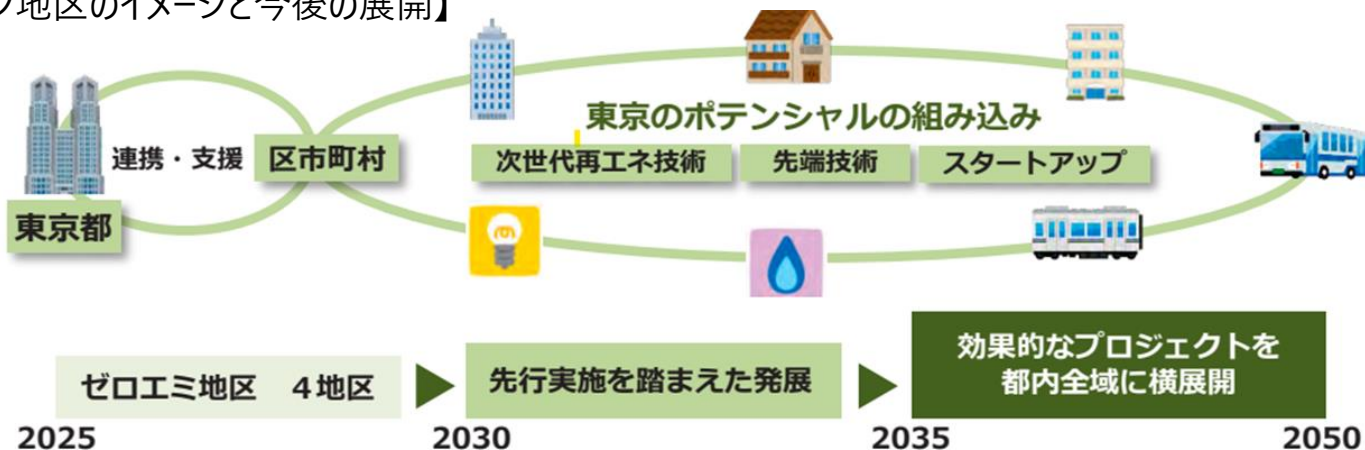
【環境政策加速化事業の主な支援メニュー】

家庭の省エネ・再エネ促進、ZEV活用による災害対応力強化、プラスチックの持続可能な利用推進、食品ロス・リサイクル対策推進、フロン排出削減対策支援、熱中症・ヒートアイランド対策推進 等

ゼロエミッション地区創出プロジェクト

- 今年度から、都独自の**ゼロエミッション地区**の創出に向け、**市区町村の面的な脱炭素化**を**最長5年間財政支援**するとともに、各主体の取組や合意形成等を伴走支援

【ゼロエミッション地区のイメージと今後の展開】



HTT

電力を
へらす
つくる
ためる

TokyoTokyo

より強固なパートナーシップを構築、
オール東京で脱炭素化を強力に推進